実践事例.01

段階的に生徒の主体性や

キャリアを考える力を養う

多角的な取り組みを通

宫城県仙台市立 仙台高校

2007年にスタートした 鵬 (Phoenix) プラン

が れている。 ットボール部をはじめ、部活動にも力を入 割が推薦・AO入試を受験しているとい 短大進学や専門学校進学も含めて約4 立大学を中心とした4年制大学に進学。 仙台市立仙台高校では、約7割の生徒 、国公立大学をはじめ、宮城県内の私 全国大会優勝経験のある男子バスケ

格的に着手したのが2007年。 nix)プラン」だ。 グラムをスタートした。それが「鵬(Phoc たことから、まったく新しい全校的なプロ 教育は行っていたが、成果が限定的であっ もインターンシップを中心としたキャリア その同校が「キャリアプラン」教育に本 それまで

は

地域に暮らす外国人を招いて

バル化に対応し

、国際理解学習で

中心に立ち上げたもので、現在も基本的 部長の丹野修先生は次のように語る。 「この プランは当時の進路指導部長を 導入の目的と背景について、 進路指

> らいいのか。それを意識して設計されたキ 視点を生徒たちにもたせるにはどうした こから、今、何をしたらいいのかを見つめる の先の将来をどう生きたいのかを考え、そ な内容・方向性は踏襲しています。課題と ャリア教育プログラムです えてしまうことでした。 してあったのは、 、生徒が進学をゴールと考 そうではなく、

> > は

職

業ガイダンス、職業体験学習、大学

擬授業

オープンキャンパス参加、

、卒業

を高めていくことが最終的な目標だ。 欲を高め できるかという志に関する理解を深める 能力や適性、興味関心、社会のなかで何が る力を育み、同時に、自分自身について ことにある。 同プランのねらいは、現代社会を理解す 意思決定能力や本質的な学力 それによって、 、生徒の学習意

学習、

、情報学習をはじめ多種多様

な活動が「鵬(Phoenix)プラ

ン」の一環として実施される。

グロー

ボランティア学習、環境学習、保健

このような王道のキャリア教育に

い加え、

ィネステストに取り組む

う設計されている点だ が有機的に連動して教育効果を上げるよ な学習の時間やロングホームルームを利用 ようなものなのか。大きな特徴は、 したプログラム、各種学校行事を、 に同プランに沿って方向付けし、 全体像は図1の通り。学年ごとに核と 、具体的な取り組みの内容はどの それぞれ 総合的 全体的

成長の機会が提供される。

的に合わせて設計されており

には、多角的、継続的に気づきや

|関心を知るという同プランの

社会を理解し

自分の すべての

進路指導部長 丹野 修先生



進路指導部 大塚修哉先生

School Data

ムについて見ていこう。

次に、

なかでも核となる4つのプログラ

わっています」(丹野先生)

1940年創立/普通科/生徒数832人 (男子401人·女子431人)/進路状況 (2012年度実績)大学66.7% · 短大4.7% · 専門学校16.1%・就職5.0%・その他7.5

分けて、

すべての教員がこの取り組みにか

書マルチメディア部といったように担当 習は環境国際理解教育部、情報学習は図 ボランティア学習は生徒指導部

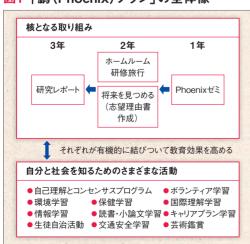
、環境

「キャリアプラン学習などは進路指導部

図1 「鵬 (Phoenix) プラン」 の全体像

機会なども設けている。

自国の文化について語ってもらう



やりたいことを見きわめる 志望理由書作成を通して

年間を通してさまざまな活動が行われ なるプログラムが設けられているほか

る。このうちの一つ「キャリアプラン学習」で

●Phoenixゼミ (1年次)

が自分の希望するゼミに参加し 約20講座を開講(図2)。生徒全員 ・年の先生全員が自由にテーマを設 調査·研

生体験談などを時期に応じて実施。また

「自己理解とコンセンサスプログラム」で

自分の興味関心や指向性を測るレデ

究に取り組むプログラムだ。 した取り組みです。 6月にガイダンスを行 「生徒の知的好奇心を育むことを目的と

取材·文/伊藤敬太郎







図2 2013年Phoenixゼミの

日本のエネルギーについて考える─パートⅡ ブッダ「真理のことば」を読み、座禅の実践

イギリスの童謡(ナーサリーライム)を歌おう

身につけよう いろいろなマナー!! ゼミ

あなたの知らない「将棋の世界」

感性を磨く~歌う、詠う、詩うゼミ

格好良くプレゼンテーションをしよう!

東日本大震災と今後の地球を考えよう!-

図3 志望理由書#1(ワークシート)

2 生宝する学問分野(定職業分野)について、自己の適性(自分が優れている。 用いていると思じる点

4. 生星学部・学科で学べる内容を書きなおい。また、具体的に研究したいこと(意取り組みたい位率)を述

7. 学型分野・商業分野に関するトピックス(最近の路線)を調べ、そのことに対する自分の考えを述べる

3 学問内容(空職業分野)が社会にとってどのような意義・役割があるのか述べながい

5. その他(その分野で取得できる資格、卒業後活躍できる分野や職業など)を書きなお 8. 直接運搬に向けて、今後自分が取り組むべきことについてできるだけ具体的に述べなれる

第2学年「将来を見つめる」

学内プランクトン図鑑を作ろう!

テーマー覧

孫の手運動「やくだち」展 子どもの発達と保育

自然と科学(化学)

芝居しよう 新聞を読むさ

数学を楽しむう

戦後の日本を知るゼミ 囲碁入門

和食料理を作ろう! スマホで遠隔操作! ゼミ 地球惑星科学講座

































ルドワークを行う日を設けています。重き 生き生きと発表に取り組むシーンもよく 発表です。 を置いているのが1月に学年集会で行う 普段は引つ込み思案な生徒が

●ホームルーム研修旅行(2年次)

見られますね」(丹野先生)

がら、最終的なプランの見直しも生徒自 行会社の担当者からアドバイスを受けな 予算内で実施できるよう調整します。旅 たら、次に旅行会社に学校に来てもらい それぞれ異なる土地に赴く。行き先は沖 自分たちで行き先や研修のテーマを決め、 「クラス内で話し合って旅行プランを立て ホー 、広島、京都などさまざまだ。 ムルーム研修旅行は、 クラスごとに

全体で研究発表をし、翌年の文化祭では 旅行後に、クラス単位、 学年

ځ

身が行います」(丹野先生)

●将来を見つめる(2年次)

い、7月から1月にかけて毎月2~3回の

ペースでゼミを実施。11月にはスペシャルデ

・と題して、それぞれテーマに応じたフィー

進路を想定した志望理由書を作成する。 12年度から実施している。 1年のPhoenixゼミと3年の研究レポ 下の橋渡し的なプログラムとして、20 図3の用紙を使って、自分の希望する

2回目までは具体的な大学名は書かな どを用紙に書き込んでいく。 課題として最初の志望理由書作成を行 志望する理由や大学で研究したいことな 学部・学科のみを決めて、 春までに計3回作成するが、 その分野を 1回目

生徒も多いのですが、添削指導をすると 重視するのは、とにかくスペースを埋める 徒のための取り組みといえます。 1回目に という生徒もいますが、むしろそういう生 ことと清書のイメージでペン書きをするこ 「まだ進路が決まっていないので書けない 最初はなかなかスペースが埋まらない

展示発表も行う。

夏休み前にガイダンスを行い、 休み中の

姿に成果を感じると両先生は語る。

- 大学進学後、大学の勉強や研究に主体

向にあるが、それ以上に、卒業後の生徒

同プラン導入後、大学進学率も上昇傾

う。

で 即したテーマについて研究活動を行う。 ね」(丹野先生) AO入試のアピール材料にもなっています たかは調査書にも記載しますから、推薦 もできるようになっています。何を研究し `組みです。 今までの積み重ねがあるの

する機会も多く、それが在校生への刺

そのような卒業生が在校生の前で講

にもなっているという。

一連の取り組みを通して、生徒は段階的

そのプロセスが重要なんです」(進路指導 しっかり調べ、考えて書き込んできます。 /大塚修哉先生

に自分や社会を知り、主体的に考え、

自

いく。3年の研究レポートの段階では、 分自身でキャリアデザインする力を養って

多

の志望進路を的確に把握できるという。 担任の先生に提出するので、 削を受け、春休みには志望大学名まで記 入した志望理由書を作成。これを3年の 秋には志望分野別の担当の先生に添 、先生も生徒

という。

なく、「その大学に進学して、卒業後に何

くの生徒が「どの大学に行きたいか」では

をしたいか」を語れる力を身につけている

研究レポート (3年次

野別の分科会単位で、自分の志望分野に 3年の7月から夏休みにかけて、志望分 、この時期には生徒は自分でテーマ設定 (Phoenix)プランの総括的な取

生も目立ちますね」(大塚先生)

などに熱心に取り組んでいたりする卒業 的に取り組んでいたり、ボランティア活

実践のヒント

先生の共通意識を 成することがポイントです

大切なことは何ですか? 全校的にプログラムを進めるうえで

組みなので、先生の共通意識を形成する と、一つひとつの活動が単発のお祭りになっ てしまうリスクもあります。そのため、 ことがポイントです。 すべての先生がかかわる多角的な取 目的が見えていない

ダウンロード可

※ダウンロードサイト: リクルート進学総研 >> 発行メディアのご紹介 >> キャリアガイダンス (NO.49)

生を対象に、12月にキャリア教育の研

を実施しています。(丹野先生)